



1. 商品の内容 当社は、組成会社等の商品を販売会社として、お客様に商品の勧誘を行っています

金融商品の名称・種類	ニッセイ世界ハイブリッド証券戦略ファンド（毎月決算型・通貨プレミアムコース） 愛称：アドバンスド・インカム（毎月・通貨プレミアム）
組成会社（運用会社）	ニッセイアセットマネジメント株式会社
販売会社	キャピタル・パートナーズ証券株式会社
金融商品の目的・機能	投資対象とする外国投資信託証券を通じ、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に幅広く分散投資を行い、安定した金利収入の確保と信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	投資対象とする外国投資信託証券を通じ、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に幅広く分散投資を行い、安定した金利収入の確保と信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行うことから、中長期での資産形成を目的とする方を想定しています。主として世界の金融機関が発行するハイブリッド証券を実質的な主要投資対象とすることから、一定程度の収益を求め、ある程度の元本割れリスクを許容する方を想定しています。
パッケージ化の有無	このファンドは、複数のファンドを組入れるファンド・オブ・ファンズ(FOFs)です。ただし、これらを個別のファンドとして購入することはできません。
クーリング・オフの有無	金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

次のご質問がありましたらお問い合わせください

- ・ あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財務状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠はなにか。
- ・ この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。
- ・ この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べてどのようなメリット・デメリットがあるのか。

2. リスクと運用実績 本商品は、元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります

損失が生じるリスクの内容	ファンドは、主に国内外のハイブリッド証券を投資対象としますので、金利変動等による組入証券の価格の下落、組入証券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、これらに加え、為替の変動により損失を被ることがあります。 主なリスクは以下の通りです。（以下に限定するものではありません。） ハイブリッド証券投資による金利変動リスク／信用リスク／ハイブリッド証券固有のリスク カバードコール戦略にともなうリスク／為替変動リスク／特定業種への集中投資リスク／カントリーリスク／流動性リスク
参考 過去1年間の収益率	9.2%（2023年9月末現在）
参考 過去5年間の収益率	平均：5.6% 最高：28.7%（2021年3月） 最低：-6.6%（2020年3月） ※ 上記は2018年10月から2023年9月の各月末における直近1年間の数字（2014年9月25日設定）

※ 損失リスクの内容の詳細は【交付目論見書】の「投資リスク」、運用実績の詳細は【交付目論見書】の「運用実績」に記載しています。

次のご質問がありましたらお問い合わせください

- ・ 上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
- ・ 相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。

3. 費用 本商品の購入または保有には、費用が発生します

購入時に支払う費用（販売手数料など）	お申込価額に、お申込口数、手数料率3.30%（税抜3.00%）を乗じて得た金額 ※金額指定・口数指定でのお買付けが可能です。 ※分配金受取コースのみ取扱いとなります。
継続的に支払う費用（信託報酬など）	運用管理費用(信託報酬)は毎日、ファンドの純資産総額に年率2.0185%(税抜1.835%)をかけた額とし、ファンドから実質的にご負担いただきます。また、監査費用は毎日、ファンドの純資産総額に年率0.011%(税抜0.01%)をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただきます。その他、組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等は随時、ファンドからご負担いただきますが、これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。
運用成果に応じた費用（成功報酬など）	ありません。
売却（解約）時に支払う費用（信託財産留保額など）	ありません。

※ 上記以外に生ずる費用を含めて詳細は【交付目論見書】の「手続・手数料等」に記載しています。

次のご質問がありましたらお問い合わせください

- ・ 私がこの商品に〇〇万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。
- ・ 費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

裏面も必ずご確認ください

4. 換金・解約の条件

本商品を換金・解約をする場合、一定の不利益を被ることがあります

- このファンドの償還日は、2024年 9月17日です。ただし、償還延長や繰上償還の場合があります。
- このファンドに解約手数料はありません。また、信託財産留保額もありません。
- 金融商品取引所の取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、換金の申込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた換金の申込みの受け付けを取消すことがあります。なお、申込日がニューヨーク証券取引所、ロンドン証券取引所のいずれかの休業日と同日の場合は、換金の申込みの受け付けを行いません。

※詳細は【交付目論見書】の「手続・手数料等」に記載しています。

次のようなご質問がありましたら
お問い合わせください

- ・ 私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

5. 当社の利益とお客様の利益が反する可能性

- 当社がお客様へこの商品を販売した場合、当社はおお客様が支払う費用（運用管理費用（信託報酬））のうち、組成会社から年率0.77%(税抜0.7%)の手数料をいただきます。これは、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価です。

※利益相反の内容とその対応方針については、当社ホームページ「お客様本位の業務運営に関する基本方針」の「利益相反の適切な管理」をご参照ください。
https://www.capital.co.jp/jp/company/cs_policy.html

次のようなご質問がありましたら
お問い合わせください

- ・ あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私にすすめていないか。
私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社ではどのような対策をとっているのか。

6. 租税の概要

NISA、つみたてNISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください

- 税金は表に記載の時期に適用されます。
- 以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税、復興特別所得税および 地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%
換金（解約）時および償還時	所得税、復興特別所得税および 地方税	譲渡所得として課税 換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

※外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人の場合は上記と異なります。

※上記は2023年9月末のもので、税制が改正された場合には税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※詳細は【交付目論見書】の「手続・手数料等」に記載しています。

- この商品の当社でのNISA、つみたてNISAおよびiDeCoでの取扱いは以下の通りです。

NISA	つみたてNISA	iDeCo
×	×	×

7. その他参考情報

販売会社（当社）が作成した「契約締結前交付書面」	https://www.capital.co.jp/jp/products/pdf/fund/nissay01_hokanshomen.pdf ※PDF形式で掲載しています。	
組成会社が作成した「目論見書」	https://www.capital.co.jp/jp/products/pdf/fund/nissay01_mokuromi.pdf ※PDF形式で掲載しています。	

契約締結に当たっての注意事項等をまとめた「契約締結前交付書面」、金融商品の内容等を記した「目論見書」については、ご希望があれば書面でお渡します。